

## 保健管理の充実のためのチェックリスト【例】

国内の感染レベルが変化する中で、子どもたちの学びを継続するためにも、感染症拡大防止のための取組を継続していくことが大切です。定期的に取り組状況を確認し、地域の感染レベルに応じて、適切に感染症対策を講じるようお願いします。

チェック	チェック項目
	登校前の健康観察で、発熱等の風邪症状がある場合には、自宅で休養することについて徹底している。
	登校時には、児童生徒等の検温等の健康観察結果の確認及び健康状態の把握をしている。
	家庭で体温や健康状態を確認できなかった児童生徒等について、登校時に教職員が検温及び健康観察等を行う体制が整っている。
	教育活動中の健康観察を適宜実施し、登校後、児童生徒等に発熱や呼吸器症状、倦怠感等の体調の変化が生じた場合は、養護教諭等と連携して迅速に対応している。
	「密閉」「密集」「密接」の3つの条件が同時に重なる場を可能な限り避けることができるよう、教育活動の工夫をしている。
	教室等における常時換気（厳しい場合には30分に1回以上、少なくとも休み時間ごとに窓を全開にする等）を励行している。
	冷暖房設備を使用する場合も、十分な換気を行っている。その場合にも、適切な温度管理に配慮し、衣服による調節等、柔軟かつ適切に対応している。
	通常の清掃活動の充実と徹底を図り、清潔な空間を保つことを心掛けている。
	手洗いや咳エチケット及び免疫力を高めることなどの基本的な感染症対策について、発達段階に応じた指導をしている。
	マスクを着用することの必要性を指導し、身体的距離が十分にとれない時や会話をする時にはマスクを着用している。